

2018

2

February
No. 299

三島みしま広報

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

一年の幸せ願う

国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」(2, 3ページに関連記事)

主な内容

三島のサイノカミ	2~3	町史編さん室だより	9
まちの話題	4	宮下病院からのお知らせ	10
町民記者通信	5~7	情報配信	11~13
健康で元気な毎日!	8	町長日記	14
図書のご案内	8		



滝谷地区 文・写真 目黒民一さん (滝谷)

滝谷地区のサイノカミは1月14日に歳祝の人達を中心に地区民総出で製作に取り掛かりました。昼前には今年の恵方の方角である南南東を向いた立派なサイノカミが完成しました。その後会場では歳祝の人による恒例の「みかんまき」が行われ、子どもからお年寄りまで大勢の人が集まり、歓声が響きわたりました。翌15日の夜、旧家である若林敏彦氏宅で採火された松明を歳祝の人達が会場まで運んで点火しました。サイノカミが燃え始めると歳祝の人は若い人達によって火の回りを走らされる「ドウツキ」が行われました。また、会場では御神酒がふるまわれ、もちやスルメを食べる人の姿もありました。

そして赤々と、冬の寒空へと燃え上がるサイノカミの御神火を見つめながら、誰もが今年一年の無事息災と世の中の平穏無事の願いをこめていました。

西方地区 文・写真 本名与四郎さん (西方)

1月14日の午前9時より西方地区巢郷ではサイノ神の準備が行われました。はじめに、近くの林に向かい、全員で二礼二拍手一礼の後、御神木を切り出しました。その後、各家々から稲藁、萱、豆の木や小竹など持ち寄り、御神木に稲藁を巻き付ける作業が始まりました。五十嵐正一さんや小松順太郎さんの助言を受けながら、10メートル以上もあるサイノ神を作りあげることができました。

翌15日の午後5時30分近くになると、地区の住民が細い棒にもちをはさみ、サイノ神の周りに大勢集まり、点火の瞬間を見つめていました。

今年は例年になく朝から晴天に恵まれ、赤々と燃え上がる炎の勢いが満天に広がる星空を突き刺すように上がりました。地区住民が一同に会し、今年も健康で五穀豊穡を願いながらのサイノ神となりました。

滝原地区 文・写真 佐久間絹江さん (滝原)

田んぼのない滝原地区のサイノカミは稲わらを使わずに、秋に刈り取ったすすきを雨風にかからないよう保管して、1月15日朝9時に地区住民の方々と消防団員によって山から切り出した御神木にまきつけて作りあげます。

午後7時に点火し、勢いよく燃えあがる炎に全身を温め火の粉をあびて今年一年の無病息災と五穀豊穡を願いました。

御神酒をいただいた後は持ち寄ったもちやスルメをあぶり、恒例のみかん拾いで両手いっぱい福を拾い集めていました。

燃え上がる炎に 五穀豊穡や無病息災を願う

国の重要無形民俗文化財 三島のサイノカミ

1月15日夜、国の重要無形民俗文化財に指定された小正月行事「サイノカミ」が町内各地で行われました。

サイノカミには、家内安全、五穀豊穡、無病息災など一年の無事を願う厄払いの意味があります。住民が力を合わせてサイノカミを作り、思いを込めて火を燃やす行事は、欠かすことのできない町の小正月行事として今でも大切に受け継がれています。

町民記者の方々から各地区のサイノカミの様子が届きましたのでお伝えします。

桧原地区 文・写真 佐々木邦雄さん (桧原)

1月15日、近年にない晴天に恵まれ、例年通り春日神社前で「サイノカミ」の準備が行われました。午後1時より、15名が参加して御神木迎えとオンベ作りを行いました。

今年は米寿を迎えられた片山祐一さんに約10mの杉の御神木を提供していただき、立派なサイノカミが作られました。

午後7時より海老名健区長と片山祐一さんより御礼のあいさつがあり、続いて歳祝と厄年の皆さんがサイノカミに点火すると、音を立て勢いよく炎が上がり、オンベに火が付くと大きな歓声がこだましました。

会場では歳祝と厄年の男女によりみかんやお金を撒き、御神酒が振る舞われ、参加された皆さんはもちやスルメを焼き、小正月行事を楽しまれました。終わりに地区の消防班の皆さんに火の始末をお願いし解散しました。

宮下地区 文・写真 小島純さん (宮下)

1月15日、宮下地区のサイの神が、三島神社境内で行われました。午後6時30分に点火され、集まった地区住民の皆さんは炎に当たりながら、スルメやもちを焼いていました。また、昨年三島小学校の子どもたちが桐の板に書いて作成した「自分だけのサイの札」も焚きあげました。地区の皆さんは今年一年の無病息災、地区の安全を願いながらサイの神の炎で体を温めていました。





今年一年の飛躍・発展を願う 文・写真 小島純さん（宮下）

宮下地区（目黒政寿区長）の平成30年新年会は1月1日午前10時から宮下活性化センターで開催され、地区民約40名が出席しました。目黒区長の年頭のあいさつと所感の後、地元五十嵐健二議長のあいさつがあり、引き続き栗城徳光氏の乾杯の音頭で新年を祝う宴に入りました。出席した住民は今年一年の地区の飛躍と発展を祈りながらお互いに盃を交わし、和やかに歓談しました。



地区住民に幸あれと願った新年会

文・写真 本名与四郎さん（西方）

1月1日の午前10時より西方ふるさとセンターにおいて「新年会」が行われました。地区役員の小松豊さんによる開式の言葉の後、国歌斉唱を三島小学校6年生の飯塚真林さんの伴奏で行いました。その後、区長の北館長一さんから昨年取り組んできた地区行事活動や今後の要望、改善などのあいさつがありました。年頭所感として小柴正洋議員、青木喜章議員による西方地区を含めた三島町全体の今後を見据えたビジョンの抱負などあいさつがありました。その後、地区財産管理会長の青木喜章さんによる乾杯で祝宴に入りました。今年の新年会の出席者は、昨年以上の60名を上回る大勢の参加者となり、和やかにそして賑やかな新年会となりました。最後に、地区老人会長である佐藤幸志さんの音頭で万歳三唱を元気よく声高らかに言い、今年一年の幸せと健康を願った新年会は閉会となりました。



川井松音寺のお日待と護持会 文・写真 角田伊一さん（川井）

今年も1月7日に川井松音寺では恒例のお日待行事が行われました。午前10時から齋藤住持の大般若経の輪読が始まり、家門栄昌と子孫長久のお祓いを受けた後、祈祷札と特大の紅白饅頭の護符をいただきました。お日待はもともと民間で行う新月の初日迎いの行事でしたが、いつの間にか宗教行事に変わっていったようです。

その後、寺の本堂を会場に川井・大登地区の檀信徒による護持会の総会が行われ、予算決算審議のあと役員改選が行われ、角田亀好さんに代わって大登地区の馬場正信さんが新総代長に就任されました。



無 火災を目指して
三島町消防団出初式

三島町消防団出初式は1月6日に行われ、消防団本部幹部・各班長、消防署、警察署、保育所の子どもたちによる幼年消防クラブ、小学校少年消防クラブ、議会議員などが参加しました。宮下町内をパレードした後、三島神社に参拝し無火災を祈願しました。また、消防団各班は地区内の消火栓の点検や消防ポンプによる放水などを行いました。

野 菜不足を0（ゼロ）にする！
カゴメ「野菜と生活 管理栄養士ラボ」健康講座

カゴメ「野菜と生活 管理栄養士ラボ」健康講座は1月12日に町民センターで開催され、町民約80名が参加しました。

管理栄養士による「野菜と生活」と題した講座のほか、野菜ジュースの飲み比べや減塩とん汁試食会などもあり、多くの参加者が楽しみながら日頃の野菜不足を解消する正しいコツやワザについての知識を深めました。



今 年の福をキャッチ
三島町スタンプ会による三島初市

三島町スタンプ会主催による三島初市は1月13日、役場前で開かれました。会場には初売りの模擬店が設営され、縁起物や衣料品、食料品などが販売されました。

午後からは初市恒例のみかんまきが行われました。今年の福を求めて子どもからお年寄りまで多くの方が参加し、みかんをひろいました。



長 い冬の時間を楽しく
冬のものづくり教室開催中

今年度の冬のものづくり教室が1月13日から生活工芸館で開催されています。山ブドウ細工やマタタビ細工、ヒロロ細工など部門ごとに町内外から初心者から経験者まで多くの方が参加し、講師の方々の熟練の技を実際に見たり、コツを教わったりしながらものづくりに没頭していました。

冬のものづくり教室は2月24日④まで土日を中心に開催されます。





川井の小正月行事を今年も見学に

文・写真 角田伊一さん（川井）

川井地区では今年も各家の繁栄と安寧を祈念して、様々な小正月の伝統行事を実施しました。鳥追い、カラス追い、モグラ除け、成木責め、団子さしなどは各戸でひそやかに行われた模様でしたが、無形民俗文化財の指定を受けている初田植えとサイノカミは地区をあげ盛大に行われました。

ところで、これらの小正月行事を見学するために、およそ10年前から欠かさず川井地区を訪れていらっしゃる、千葉市で「雑報友の会」を主宰する鈴木厚正さん一行5人が今年も懐かしい顔を見せ、終日行事に参加され厄払いと無病息災を祈願して帰られました。15日の早朝から森田家の団子さしや初田植えを見学し、そのまま地区民と行動を共にしてサイノカミ作りに汗をながし、夜は神柱の燃え尽きるまで地区民との交流を楽しまれました。



健康維持と交流を図る「高清水・小山健康を守る会」

文・写真 菅家敏一さん（高清水）

1月18日、輪投げ大会が開催され、地区の多くの方々が参加しました。この季節は家に閉じこもりがちですが、ゲームをするなど交歓会の場になり楽しい一時を過ごしました。

地区の皆さんが集まってお互いの元気な姿を見れたよい機会となり、風邪などひかないようにと声を掛けあいながら、次回の開催を楽しみに散会しました。



古峯神社参拝（代参）

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

1月8日、桧原地区の古峯神社講の代参5名と特別参加1名が古峯神社の代参ツアーに参加しました。桧原地区以外に大登や名入地区、会津若松市内から集まった20名でのツアーは予定通り出発し、第3回目のご祈禱を受け、地区の無火災・無災害と繁栄を祈願して帰りました。

古峯神社は天狗の信仰で知られ、初詣の際「歳旦祭」が行われ、例年約3万人もの参拝客が訪れているとのことでした。当地区においては、明治24年作成の「御札」の代参箱により、護符を受け取っています。これは、およそ128年前から引き継がれている宝の木箱です。代参者の参加が、少子高齢化により運営も厳しいとの声が聞かれますが、伝統文化「世代を超えて受け継がれた精神性」を継続していきたいと思っています。

また、1月9日代表者により講が開かれました。報告会を行った後、来年度の代参者5名もくじにより決定し、引き継ぎできました。その後行われた直会は大変盛り上がり、今年一年を皆さんが健康であることを願いながら歓談しました。



伝統行事「鳥追い」の歌声がこだまする

文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

1月14日、桧原地区と他地区の子どもと大人の方に参加いただき、総勢55名が参加し、鳥追いが盛大に行われました。

海老名健区長より希少な伝統行事に参加していただいたことへの感謝の言葉と、元気に大きな声で農作物に害のある鳥を追い払ってくださいとあいさつがあった後、参加した皆さんは厳しい寒さの中を地区の上と下の境まで歩きました。

行事の終了後、地区より子ども達にお菓子が配られ、伝統ある正月行事をみんなで楽しみました。



広報みしま 皆さんからの情報提供をお待ちしています

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが、読まれる方の関心を引き、感動を与えます。「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。

☎ 総務課総務係 ☎ (48) 5511

小正月の「田植え」

文・写真 菅家壽一さん（間方）

1月15日の早朝、小正月の「田植え」を行いました。昨年に採れたお米の「もみ殻」を敷いて田んぼに見立て、同じく昨年に採れたお米の親の「藁」と、お正月飾りの「松」で行います。

昨年は、雨の日が多く、イノシシにも荒らされるなど米の出来具合は最悪に近い状況でした。

日の出に向かい、今年はお天道様の恵みをいっぱい受け、美味しいお米が豊かに稔り一年間元気で田んぼに行けますようお願いするとともに、町中の多くの田んぼが作られた美しい三島町の景観を思い浮かべながらお祈りしました。





高血圧を引き起こす生活習慣の中でも特に気を付けたいのは塩分の取りすぎです。食塩を取ると血液量が増え、血圧が上がることは以前このシリーズでも書きました。

日本人が食品を多くとっている食品ランキングを見てみると、昔は漬物と言われましたが、今や1、2位はカップ麺、インスタントラーメンとなっています。

厚生労働省の基準では、1日の塩分摂取量を健康な男性なら8.0g未満、女性なら7.0g未満に抑えるよう推奨しています。高血圧の場合は日本高血圧学会では男女とも6.0g未満に抑えることを推奨していますが、カップ麺、インスタントラーメンでは高血圧がある場合の1日分の塩分を取ってしまうこととなりますね。

各県庁所在地で調べた食品ランキングを見ると福島は全国でも塩分の多い食品の摂取量が多いようです。

●日本人が食塩を多くとっている食品

順位	品目	塩分量
1	カップめん	5.5g
2	インスタントラーメン	5.4g
3	梅干し	1.8g
4	高菜の漬物	1.2g
5	きゅうりの漬物	1.2g
6	からし明太子	1.1g
7	塩サバ	1.1g
8	白菜の漬物	1.0g
9	真あじの開き干し	1.0g
10	塩鮭	0.9g
11	大根の漬物	0.9g
12	パン	0.9g
13	たらこ	0.9g
14	塩こんぶ	0.8g
15	かぶの漬物	0.8g

※医薬基盤・健康・栄養研究所の一食あたりの塩分量報告より

●食品ランキング（県庁所在地および政令都市）

順位	カップめん（めんと具材入り）			
	金額：円		数量：g	
1	青森市	5,565	青森市	5,528
2	新潟市	5,245	新潟市	4,609
3	山形市	5,027	山形市	4,565
4	福島市	4,577	富山市	4,533
5	仙台市	4,571	盛岡市	4,037
6	富山市	4,565	秋田市	3,991
7	秋田市	4,522	仙台市	3,941
8	盛岡市	4,363	福島市	3,904
9	鳥取市	4,358	札幌市	3,797
10	宇都宮市	4,248	鳥取市	3,766

※2014～2016平均一世帯あたりの年間購入額および数量（総務省家計調査より）

順位	梅干し（原型をとどめてないものを除く）			
	金額：円		数量：g	
1	和歌山市	3,682	和歌山市	1,945
2	さいたま市	1,826	青森市	1,157
3	福島市	1,773	那覇市	1,079
4	青森市	1,772	さいたま市	1,036
5	東京都区部	1,769	福島市	978

順位	白菜漬（他の野菜と混合していない）			
	金額：円		数量：g	
1	高知市	1,553	高知市	2,073
2	鳥取市	1,512	鳥取市	2,059
3	福島市	901	福島市	1,316
4	富山市	812	富山市	1,209
5	仙台市	777	宇都宮市	1,103

町史編さん室だより

第25回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

磐梯町にある山ノ内俊基之墓（滝谷地区）

天正十七年（一五八九）に伊達政宗と蘆名氏との合戦、いわゆる「摺上原の戦い」において、蘆名軍下にいた滝谷城主の山ノ内俊基らが討死したとされています。この山ノ内俊基の石碑が磐梯町入倉集落の近く、磐越西線入倉踏切北側の農道脇に耕地整理で残された丘上があり、そこに現在も建っています。石碑の表面には「山ノ内俊基之墓」、裏面には「瀧谷岩谷城主 撰津守 十六代 孫建」と彫られ、脇には壊れた五輪塔が三基あります。

年二月二十七日、入倉部落総会はその決議に依り、戦死の地一畝歩を山ノ内家に寄贈、又同四月八日入倉青年団の奉仕で、墓地は清掃され、盛大な法要と共に、岩松院殿雄岳洋英大居士の墓標が建てられた。

※現存七十七歳とはこの冊子が刊行された昭和三十年時点における当主藤吾郎氏の年齢

第二代滝谷城主は俊政の長子俊基で、妻は本名下野守俊隆の女。中略（討死し、峯を越え、谷を渡り、館の越、赤留坂、町北村を踏破し、古老に史実を質し、それらしき地の草の根を分け、日下藤兵衛氏、田中信照氏、若林茂氏等の援助の下に、終に俊基戦死の地を探し当てた。昭和二十五

また滝谷地区の金竜寺参道階段北に建つ、山ノ内吉右衛門（滝谷城主俊基の子孫、八代目当主であり滝谷組郷頭）の頌徳碑は昭和三十六年に建立となっています。どちらも藤吾郎が関係し建立に至ったものと思われま



山ノ内俊基之墓（磐梯町）

て執筆されたようで、今回参考にした『吉右衛門伝』は福島県立図書館の蔵書ですが、寄贈したのもまた藤吾郎氏です。

昭和十八年から三〇年代まで、藤吾郎氏は町内にとどまらず磐梯町まで祖先の足跡を辿り顕彰してきたことが明らかにりました。戦中戦後の厳しい時期にありながら、祖先の足跡を石碑や書籍という形で後世に遺そうとする藤吾郎氏の行動は、滝谷・山ノ内家をはじめとした滝谷組の歴史を現代にまで伝える一つの流れをつくった、といえるかもしれま

せん。文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

図書のご案内

●今月のおすすめ



王さまと九人のきょうだい（中国の民話）
訳：君津久子

見た目がそっくりでも違う特技を持つ9人の兄弟が王様からの難題を次々解決していく爽快な物語です。

○利用時間

①～④ 午前9時～午後9時 ⑤・祝日 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。

「日本史の内幕」
～戦国女性の素顔から幕末・近代の謎まで～
著者：磯田 道史

豊臣秀頼の出生、女城主直虎の実像など日本史の数々の謎に、全国各地の古文書を解読してきた著者が迫る。

題名	著者
喜多方～人々の心に響くまち～	歴史春秋出版
会津女性の物語	歴史春秋出版
徳一と勝常寺	白岩孝一
幕末を駆け抜けた天馬	河野十四郎

●新着本●

 消防署からのお知らせ ～除雪作業時の注意点～

1 屋根・はしごからの転落

高所での除雪は特に注意が必要です。屋根に上らないことが一番の対策ですが、やむを得ず屋根の除雪を行う場合、家族、近隣に知らせてから開始し、はしごはしっかり固定、ヘルメットと命綱の装着（適切な長さでの装着）をお願いします。また、晴れた日ほど雪が緩むので、雪と一緒に滑り落ちないように注意することが大切です。



2 用水路への転落

雪を捨てるために、用水路を使用する人も多いかと思いますが、まさか落ちるはずがないと思うのではなく、スリップした拍子に転落してしまうことや、疲労が溜まりふらついて転落してしまうこともあるので注意が必要です。

3 除雪機の巻き込み

作業中、除雪機に雪などが詰まり調子が悪くなることがありますが、必ずエンジンを切ってから除雪機に触れるようにしてください。機械に巻き込まれ大怪我をする事故が毎年全国で発生しています。



4 屋根からの落雪

晴れた日には、屋根からはみ出した雪が落下してくる危険があります。なるべく近付かないようにし、除雪する際は落下してくる雪に注意しながら作業してください。

～消防水利の除雪にご協力いただきありがとうございます～

町民の皆様には、日頃より自宅近くの消火栓や防火水槽の除雪にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

消防署、消防団では、消火栓や防火水槽の除雪を行っていますが、大雪などで作業が遅れる場合があります。消火栓や防火水槽は、火災時に重要な水源となりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。また、付近への雪寄せや盛り上げ、駐車等は行わないようご協力下さい。

万が一のことがあった場合すぐに連絡できるよう、携帯電話を持って作業しましょう！

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033

ポリテクセンター会津より
「職業訓練生募集」・「施設見学会」のお知らせ

●訓練生募集 「建築 CAD リフォーム技術コース」

- ①募集期間 2月7日⑥～3月16日⑥
- ②募集訓練科名 建築 CAD リフォーム技術コース
- ③募集定員 15名
- ④訓練期間 平成30年4月3日～9月28日（6ヵ月間）
- ⑤対象者 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方
- ⑥受講料 無料
- ⑦選考日 3月20日⑥ 午前9時～

●施設見学会（職業訓練ってなに？）

- 開催日時 2月5日⑥、19日⑥、26日⑥
午後1時30分～午後3時30分
- ※職業訓練について理解してもらうための説明会です。参加を希望される方は、最寄りのハローワークでお申し込みください。

⑥ポリテクセンター会津 訓練課 ☎0242 (26) 0520

 診療日記 ～インフルエンザ～

寒さも増してきて、温泉が気持ち良い季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回はインフルエンザについてです。インフルエンザは38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて、普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。今年度は12月下旬あたりからだんだんと会津地域にも流行が広がってきています。これからさらなる流行が予想され、感染拡大を最小限に抑えるために

は一人ひとりの予防対策が大切になってきます。

一番の予防法は、ワクチンの接種と、普段からの咳エチケット・マスクの着用・手洗いです。また、感染してしまったらうつさないようにしっかりと自宅で療養してください（発症5日後かつ解熱後2日）。しっかりと予防して快適な冬にしましょう。

ちなみに、インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザを発症することはありませぬので、ご心配なくワクチン接種を受けてください。



宮下病院 内科 医員 山元 勝悟

⑩ 愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

<各コーナーの開催時間のお知らせ>

- 相談コーナー 午前9～12時、午後1時～午後4時
 - 健康教室 午前11時～午前11時30分
 - 住民交流事業 午前10時～午前11時
- 宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
2月8日⑥	・相談コーナー ・健康教室「転倒予防～雪道の安全な歩き方～」(講師：看護師)
2月15日⑥	・相談コーナー ・健康教室「転倒予防～雪道の安全な歩き方～」(講師：看護師) ※2/8と同じ内容です
2月22日⑥	・相談コーナー ・住民交流事業「山ブドウ蔓ストラップ作り体験」と指先の体操 (講師：奥会津編み組 細工伝統工芸士、リハビリスタッフ)
3月1日⑥	・相談コーナー ・健康教室「もしもの備え～避難時の持ち出し品～」(講師：看護師)

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です）職員一同、心よりお待ちしております！

⑩宮下病院 ☎(52) 2321

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

国民年金は20歳以上であれば、学生の方も加入しなければなりません。
 しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される【学生納付特例制度】があります。
 対象となる方は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（修業年限1年以上である課程）に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】
 118万円 + {扶養家族の数 × 38万円}

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなりますが、承認を受けた次年度も在学予定である場合は、4月初めに再申請の用紙が届きます。
 引き続き、学生納付特例制度の申請をご希望の場合は、必要事項を記入のうえ、ご返送ください。



☎ねんきんダイヤル ☎0570 (05) 1165

福島県最低賃金改正のお知らせ

地域別最低賃金	最低賃金※	効力発生日
福島県最低賃金	748円	平成29年10月1日

福島県内で働くすべての労働者とその使用者に適用されます。
 (※特定(産業別)最低賃金が適用される労働者を除く)

特定(産業別)最低賃金 (表の業種で働く方に適用されます)	最低賃金※	効力発生日
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	798円	平成29年11月26日
計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	832円	平成29年12月6日
輸送用機械器具製造業	834円	平成29年12月9日
自動車小売業	831円	平成29年12月9日
非鉄金属製造業	847円	平成29年12月16日

左表の業種であっても、以下の場合は福島県最低賃金が適用されます。
 ① 18未満または65歳以上の方
 ② 雇入れ後3月未満の方で技能習得中の方
 ③ 清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する方
 ④ ①～③のほか「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」にあつては、小型電動工具もしくは手工具を用いて行う穴あけ、かしめ、巻線、組線取付けまたは小物部品もしくは箱入れの業務に主として従事する方

※時間額 パート・アルバイトにも適用されます。

☎福島労働局労働基準部賃金室 ☎024 (536) 4604

会津坂下警察署よりお知らせ 会津方部でオレオレ詐欺被害が発生!

会津若松 被害額300万円

12月10日、会津若松市に居住するAさん(70歳、男性)方に、息子を名乗る男から「風邪をひいて声が変わった。携帯電話番号も変わった。」と電話があった。12月12日にも再び息子を名乗る男から「夫と子どもがいる女性を妊娠させた。弁護士300万円を支払わないといけない」と連絡があり、この話を信じたAさんは指定された銀行口座に現金を振り込み、その後息子に連絡したところ被害に遭ったことが判明したものの。

南会津 被害額100万円

12月11日、南会津郡に居住するBさん(60歳、女性)方に、息子を名乗る男から「夫のいる女性を妊娠させてしまった。慰謝料として300万円を請求されている。自分で50万円用意する。残りをなんとかしてほしい。」と電話があった。この話を信じたBさんは指定された銀行口座に現金を振り込み、その後息子に連絡したところ被害に遭ったことが判明したものの。

会津方部でもオレオレ詐欺被害や息子を騙る不審電話が発生してるのでござる!
 「風邪で声がかかった」
 「電話番号が変わった」
 などの話には注意でござる。
 また、架空請求詐欺では、電子マネー券を購入させたり、コンビニエンスストアのレジでお金を支払わせる手口もあるので注意でござる。



カクニンジャー福くん

☎福島県会津坂下警察署生活安全係 ☎0242 (83) 3451

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
 (ご遺志によるもの)
 齋藤 一様(宮下)
 五十嵐 祥一様(大谷)

ひまわりサロン
 2月9日(金) 午前10時〜
 町民センター
 ☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

町からお知らせ

2月分納税のご案内
【納期限】 2月28日

- ▼町県民税(随期・普通徴収)
 - ▼固定資産税(第4期)
 - ▼国民健康保険税(第6期)
 - ▼介護保険料(第6期・普通徴収)
 - ▼後期高齢者保険料(第7期・普通徴収)
- 忘れずに納付ください。
 ☎町民課町民係 ☎(48) 5555

町の人口と世帯(1月1日現在)

人口	1,678	増減	-1	出生	2
男	824		+1	死亡	3
女	854		-2	転入	3
世帯	779		0	転出	3

はじめまして赤ちゃん

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

来月はお知らせ



今月はお知らせませんでした。

お悔み申し上げます



齋藤 ヒサ子(93才・宮下)
 五十嵐 房市(96才・大谷)
 栗城 榮子(87才・宮下)

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。
 ☎総務課総務係 ☎(48) 5511

第37回 三島町生活工芸品展

三島町の工芸品の原点である「生活工芸」。
雪国の暮らしの中で作られ、使われてきた工芸品がここに 있습니다。
編み組品をはじめ、木工品や染織等、三島町在住の工人の手作りの品が集まります。



場 所 / 三島町生活工芸館
2階大工芸室
日 時 / 平成30年 3月17日~18日
17日(土) 9:30~16:00
18日(日) 9:00~16:00
主催 / 三島町

交通のアクセス

● 列車	東京	東北新幹線	郡山	磐越西線	只見線	只見線	会津若松	90分	会津西方 徒歩15分
	浅草	東武線・野岩鉄道・会津鉄道線	会津若松	只見線	只見線	会津若松	90分		
● お車	東京	東北自動車道	郡山JCT	磐越自動車道	会津坂下I.C.	国道252号	会津若松	20分	生活工芸館
								120分	45分

生活工芸館までの距離
東京から……321km
仙台から……176km
新潟から……128km
郡山から……100km
会津若松から……39km



町長日記 ~職員が先頭に~ No. 31

1月26日午前9時に課長会議を開催し、豪雪対策本部を立ち上げました。町民の皆様への不安解消に少しでも寄り添いたいという覚悟で、その日のうちに町テレビ電話を活用した豪雪に対する対応や町内パトロール、一人暮らしや二人暮らしの高齢者等への電話をさせていただいたところでありました。町づくりの基本は「安全安心」な暮らしであります。その基礎の上に「町づくり」があると考えています。そのためには、職員は課の仕事を超えて「町民の皆様へ寄り添うことが必要である」と課長には訓示したところであります。現在のところ、27日に浅岐・間方地区で倒木による停電があり、ご不便をおかけしたところでありました。この現象は豪雪でなくとも毎年起きる可能性があります。抜本的な解決策を役場内部や関係機関と今後議論していきたいと考えています。

平成30年は三島にとってどんな年になるかということが脳裏を離れることはありません。チーム三島を成長させる原動力は職員力であると考えています。基本的には個人には責任はなく仕組みにあるのだからと考えています。問題が起ると、犯人探しや他人のあら探しをしがちな組織では課題の本質をつかむことはできません。それでは職員の士気も上がらず、結果として町民の為に思えないと考えています。人は得てして、他人を悪く言うことで、自分の立場を上げようとする意識があります。優秀なメンバーを集めるより、優秀なチームを創ることが、私に与えられている大きな仕事のひとつであります。課題のない組織はありません。その課題から逃れることなく、相互の議論を通して課題解決型の三島町にしていきたいと考えています。私と価値観が違うという理由で問題だとは考えていません。意見は違っても、仕事の出来る人が評価される職場を創っていきます。

三島町長 矢澤 源成